

家畜人工授精所開設許可申請書

宮崎県知事 殿

提出日は家保職員による  
書類確認後に記入していただきます

年 月 日

家畜人工授精所の開設者の住所 **宮崎県〇〇市〇〇町〇〇番地**  
家畜人工授精所の開設者の氏名又は名称 **宮崎 花子**

法人の場合は法人所在地

法人の場合は「法人名+代表名」

家畜改良増殖法第24条の規定により家畜人工授精所の開設の許可を受けたいので、  
家畜改良増殖法施行規則第32条各号に掲げる書類を添えて、下記により申請します。

記

1 家畜人工授精所の名称及び所在地

**〇〇家畜人工授精所**  
**宮崎県〇〇市XX町〇〇番地**

2 家畜人工授精所を管理すべき獣医師又は家畜人工授精師の氏名及び住所

**家畜人工授精師 宮崎 花子**  
**宮崎県〇〇市〇〇町〇〇番地**

3 家畜の種類及びその業務の別

**牛・5**

- 1 家畜人工授精用精液の採取・処理
  - 2 家畜体内受精卵の採取・処理
  - 3 家畜体外受精卵（とたいから）の生産
  - 4 家畜体外受精卵（生体から）の生産
  - 5 家畜人工授精用精液、家畜受精卵の保存
- ※注入・移植のみの場合は「5」

4 家畜改良増殖法第27条の種畜の種類、品種及び名前並びに他人がこれを飼養する場合にあってはその飼養者の住所及び氏名又は名称並びにその精液提供に関する契約等の概要

**該当なし**

種畜を所有する  
場合のみ記載

5 家畜人工授精所の構造、設備及び器具の概要

**別紙のとおり**

別紙を使用してください

6 その他（①と②それぞれについて丸で囲むこと。）

① 家畜人工授精所開設許可証への旧姓併記の希望の有無 **有** 無

旧姓のわかる書類  
（旧姓併記された住  
民票や免許証等）を  
お持ちください

② 申請に係る家畜人工授精所の施設又は申請者に関する外国為替及び外国貿易法（昭和二十四年法律第二百二十八号）第二十七条第一項に規定する届出の要否  
要・**不要**

日本国籍の方は基本「不要」です。  
外国籍の方が開設許可申請をする場  
合は、事前にご連絡ください。

管理者が複数  
名いる場合  
は、別紙  
でも構いま  
せん

取り扱う  
家畜の種類

施設の構造、設備の概要

1 業務の内容：~~4~~・5 様式第20号と同様

2 家畜人工授精器具一式

※以下の器具を所有している場合は、個数（本数）等を記入してください。なお、液体窒素保管器は容量及び本数を記入してください。

業務内容に即している必要が  
あります

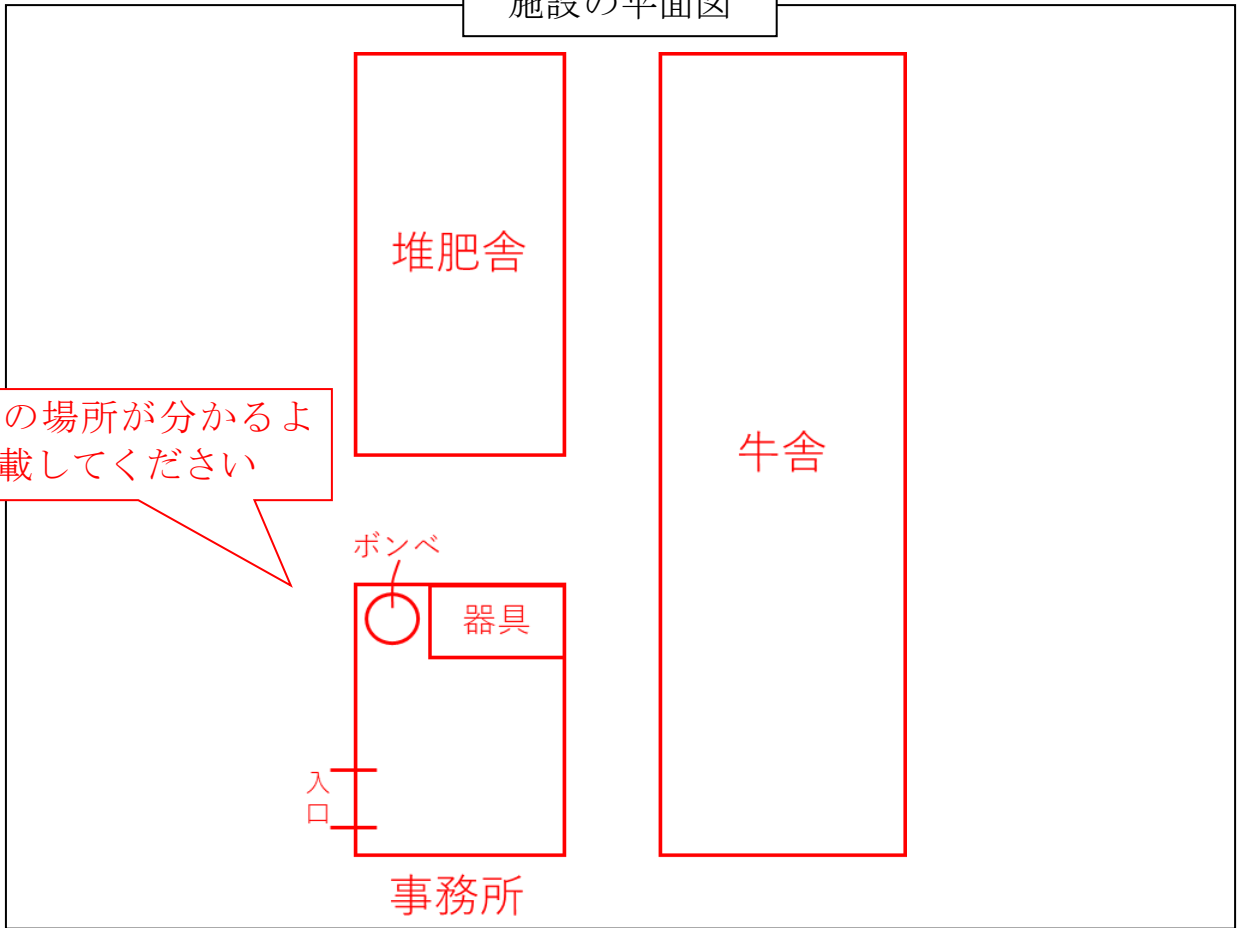
(1) 家畜人工授精器具一式

器具	個数（本数）	器具	本数（個数）
陰鏡	1	精液注入器	1
ストローカッター	1	子宮頸管鉗子	
子宮頸管拡張棒		温度計	1
シース管	50	シース管カバー	1
ピンセット	1	融解容器	1
懐中電灯	1	消毒薬	1
液体窒素保管器 (容量・本数)	20LX1		

(2) 受精卵移植器具一式

器具	個数（本数）	器具	本数（個数）
移植器		シース管	
シース管カバー			

### 施設の平面図



### 付近の見取図

